

# 英語科学習指導案

令和3年2月4日(木) 第5校時(13:55～14:40)

昭和村立東小学校 5年1組

指導者: ○○ ○○ ALT: ○○ ○○

## I 単元名 Unit 8 「Who is your hero?」 (NEW HORIZON Elementary English Course 5)

## II 学習指導要領上の位置付け

### 目標

#### (1) 聞くこと

(イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

#### (4) 話すこと [発表]

(ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

### 内容

#### ア 聞くこと

(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。

#### エ 話すこと [発表]

(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

## III 目 標

(1) あこがれの人物の特徴や得意なことを伝える表現について理解し、第三者についての具体的な情報を聞き取る技能を身に付けることができる。また、あこがれの人物を紹介する表現を理解し、それらを用いて自分の考えを伝える技能を身に付けることができる。

(知識・技能)

(2) 相手のことをよく知るために、相手にとってのあこがれの人物の特徴や得意なことなど、具体的な情報を聞き取ることができる。また、自分のあこがれの人物のことをよく知ってもらうために、実在の人物について、自分の考えを分かりやすく話すことができる。

(思考・判断・表現)

(3) 相手のことをよく知るために、相手にとってのあこがれの人物の特徴や得意なことなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。また、自分のあこがれの人物のことをよく知ってもらうために、実在の人物について、自分の考えを分かりやすく話そうとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

## IV 指導計画 ※別紙参照

**V 「追究する過程」における授業の展開（7／8）（本時）**

- 1 ねらい グループの中であこがれの人物を紹介するスピーチを行い、互いにアドバイスし合っ  
て修正する活動を通して、分かりやすく伝えられるようにさせる。

**2 展開**

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p><b>1 あいさつ・ウォームアップをする。（5分）</b> ○授業開始の雰囲気づくりをするとともに、チャンツを通して既習表現を想起させる。</p> <p><b>2 スモール・トークをする。（5分）</b> ○節分を話題にし、教師同士でやり取りした後で児童に豆まきをしている写真の人物について Who is he (she)? などと質問し、答えさせる。</p> <p><b>3 本時のめあてをつかむ。（5分）</b> ○予め提示しておいた単元の課題から、児童に問いかけて本時のめあてを推測させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて あこがれの人を分かりやすく伝えられるように、グループで発表し合い、互いにアドバイスをしよう。</p> </div> <p>○これまで児童と共有した「分かりやすく伝える」ことについて、確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[分かりやすく伝えるとは・・・] B：概ね満足      A：十分満足                      〈英語で伝える情報〉                      得意なこと B / 職業 B / 性格 A / できること A / 感想や気持ち A                      〈聞き手への配慮〉                      笑顔で話す B / 写真をしっかり見せる B / 相手を見る B / （聞き手に応じて）ゆっくり話す A</p> </div>			
<p><b>4 「あこがれの人スピーチ」について、個別に解決する。（5分）</b> ○自分が紹介したい人物について、黒板に掲示してある2つの質問（Who is your hero? と Why is he/she your hero?）の答えとなる英文を言えるように、前時に作成したイメージマップをもとに個々で練習させる。 ○言い方が分からない表現等について児童の質問に答えたり、粘り強く練習している児童や、自分なりに工夫できている児童を賞賛したりする。</p> <p><b>5 「あこがれの人スピーチ」について、集団で解決する。（20分）</b> ○4人グループで順番にスピーチを行わせる。聞いている児童には、ワークシートに自分ができるアドバイスなどについてメモを取らせる。 ○全員の発表終了後、1人ずつアドバイスする時間を設定し、言語面や内容面などについて互いに意見交換させる。してもらったアドバイスを、イメージマップに書かせる。 ○いくつかのアドバイスについて全体で共有し、参考にさせる。</p>			

- アドバイスの時間が終わったら、1度目の発表に工夫を加えて再度発表させる時間を設ける。  
グループの中で、互いの変容について認めさせ、さらにアドバイスがある場合は出し合うように促す。

評 価

思考・判断・表現 [話すこと (発表)]

- B (概ね満足) あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人の得意なことや職業について伝えたり、聞き手に配慮 (笑顔/写真提示/相手を見る) したりしている。
- A (十分満足) 上記に加えて、性格やできること、感想や気持ちを伝えたり、聞き手に配慮してゆっくり話したりしている。

主体的に学習に取り組む態度 [話すこと (発表)]

- B (概ね満足) あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人の得意なことや職業について伝えたり、聞き手に配慮 (笑顔/写真提示/相手を見る) したりしようとしている。
- A (十分満足) 上記に加えて、性格やできること、感想や気持ちを伝えたり、聞き手に配慮してゆっくり話したりしようとしている。

**6 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)**

- 言えるようになったこと (言語面) と、気付いたこと・感じたこと (内容面) に分け、本時のめあてと照らし合わせて振り返らせ、振り返りカードに記述させる。
- 何人かに発表させ、全体で共有する。

☆友達が使っていたHe/She can～. の言い方も使えそうだ。【言語面】

☆一人で練習したときよりも、アドバイスをもらった後の方が、気持ちを加えて言えるようになった。【言語面】

★もっとゆっくり話すといいとアドバイスしてもらった。【内容面】

★〇〇さんは、聞いている人を見て発表していたので自分も見習いたい。【内容面】

指導計画 英語科 第5学年 単元名 Unit8「Who is your hero?」 (全8時間計画)

目標	4年生に向けて、5年生の学習の成果として自分のあこがれの人物について知ってもらうために、友達のスピーチを聞いたり、自分のあこがれの人物について自分の考えなどを含め分かりやすく話したりすることができる。		
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	聞くこと	相手のことをよく知るために、相手にとってのあこがれの人物の特徴や得意なことなど、具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、相手にとってのあこがれの人物の特徴や得意なことなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと・発表	自分のあこがれの人物のことをよく知ってもらうために、あこがれの人物の特徴や得意なことなどについて、自分の考えを分かりやすく話している。	自分のあこがれの人物のことをよく知ってもらうために、あこがれの人物の特徴や得意なことなどについて、自分の考えを分かりやすく話そうとしている。	

過程	時間	○ねらい めあて	振り返り(意識) ★言語面 ★内容面	評価			◇評価項目 <方法>
				知技	思判表	態度	
つかむ	1	<p><b>単元の課題 Unit Goal</b></p> <p>4年生に、自分のあこがれの人物について知ってもらうために、分かりやすく紹介しよう。</p> <p>○教科書の登場人物にとってのヒーローや、海外で活躍する日本生まれのヒーローについて聞くことを通して、その内容を理解させるとともに、単元の課題の見直しをもてるようにさせる。</p> <p>あこがれの人についてのやり取りを聞き取ろう。</p>	<p>☆あなたのヒーローは誰ですか、という聞き方が分かった。</p> <p>☆性格の言い方が分かった。</p> <p>★いろいろなヒーローがいることが分かった。</p> <p>★自分は誰を紹介しようか考えていきたいと思った。</p> <p>★4年生に聞いてもらうので、頑張ってよい発表ができるようにしたい。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
	2	<p>○教科書の登場人物の日常生活について聞くことを通して、その内容や、頻度を表す語句を理解させる。</p> <p>日常生活についてのやり取りを聞き取ろう。</p>	<p>☆いろいろな日課や家事の言い方が分かった。</p> <p>★ALTの先生が家事をたくさんしていてすごいと思った。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
追究する	3	<p>○教科書の登場人物の日常生活について聞き取る活動を通して、always, usually, sometimes, never の用法を理解させ、自分の日常生活を伝え合わせる。</p> <p>自分が「どのくらい手伝いをしているか」について伝え合おう。</p>	<p>☆部屋の掃除やお風呂掃除を「ときどきやる」と言うことができた。</p> <p>★友達が家でいろいろな家事の手伝いをしていることが分かった。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>4 ○自分の得意なことについて友達や先生に尋ねたり答えたりする活動を通して、「～が得意です」という表現に慣れ親しませ、紹介させる。</p> <p>自分の得意なことを話したり、友達や先生に得意なことを尋ねたりしよう。</p>	<p>☆サッカーが得意です、と友達に言うことができた。</p> <p>★友達が意外なことが得意で、びっくりした。</p> <p>★先生にはそれぞれいろいろな得意なことがあると分かった。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
	<p>5 ○アニメや漫画のヒーローについて教師の話の聞いたり、関連する動画を視聴したりして、内容を理解させる。</p> <p>これまでの学習を思い出し、世界の人々にとってのヒーローは誰なのか聞き取ろう。</p>	<p>☆ヒーローだと思う理由を聞き取れるようになった。</p> <p>☆動画を見て、ヒーローになる条件の英語が分かった。</p> <p>★日本のアニメや漫画のキャラクターがこんなに人気があるとは知らなかった。</p> <p>★人によって、誰をヒーローと思うのかは違うことが分かった。</p>	聞		<p>知◇聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人々にとってのヒーローについて、聞き取っている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・ワークシート&gt;</p>
	<p>6 ○あこがれの人物について、ペアでのやり取りを通して、発表に向けて準備や練習をさせる。</p> <p>紹介したいあこがれの人を決めて、発表するための準備をしよう。</p>	<p>☆習った言い方を思い出して、あこがれの人を紹介する練習ができた。</p> <p>☆イメージマップを使って、言いたいことをまとめることができた。</p> <p>★ペアの友達は、ヒーローを選んだ理由をきちんと言えていたので参考にしたい。</p>	発		<p>知◇話すこと（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あこがれの人物について My hero is ~. や He/She is good at~. He/She is ~. の表現を用いて話している。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・イメージマップ&gt;</p>
本時	<p>7 ○グループの中であこがれの人物を紹介するスピーチを行い、互いにアドバイスし合って修正する活動を通して、分かりやすく伝えられるようにさせる。</p> <p>あこがれの人を分かりやすく伝えられるように、グループで発表し合い、互いにアドバイスをしよう。</p>	<p>☆友達が使っていた He/She can~. の言い方も使えそうだ。</p> <p>☆一人で練習したときよりも、アドバイスをもらった後の方が気持ちを加えて言えるようになった。</p> <p>★もっとゆっくり話すといいとアドバイスしてもらった。</p> <p>★○○さんは、聞いている人を見て発表していたので自分も見習いたい。</p>	発	発	<p>思◇話すこと（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人の得意なことや職業について伝えたり、聞き手に配慮(笑顔/写真提示/相手を見る)したりしている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・イメージマップ・振り返りカード&gt;</p> <p>主◇話すこと（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人の得意なことや職業について伝えたり、聞き手に配慮(笑顔/写真提示/相手を見る)したりしようとしている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・イメージマップ・振り返りカード&gt;</p>
まとめる	<p>8 ○4年生にあこがれの人物を紹介する活動を通して、話したい内容や自分の考えなどを、分かりやすく紹介したり友達の発表を聞き取ったりできるようにさせる。</p>	<p>☆分かりやすく伝えることを意識して紹介できた。</p> <p>★4年生が知らなそうなどころは、ゆっくり話した。</p>			<p>思◇話すこと（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人物について、前時の活動を生かし、相手に伝わるように工夫し</li> </ul>

	<div data-bbox="291 214 813 351" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あこがれの人物について、4年生に分かりやすく紹介したり、友達の発表を聞き取ったりしよう。</p> </div>	<p>★4年生がうなずきながら聞いてくれてうれしかった。</p> <p>★自分のあこがれの人を紹介して、みんなもその人を好きになってくれるといいなと思った。</p>		<p>発 聞</p>	<p>発 聞</p>	<p>ながら話している。        &lt;行動観察・振り返りカード&gt;</p> <p>主◇話すこと（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あこがれの人物について分かりやすく伝えるために、その人物について、前時の活動を生かし、相手に伝わるように工夫しながら話そうとしている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・振り返りカード&gt;</p> <p>思◇聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手のあこがれの人物を知るために、友達が紹介する人物についての情報を聞き取っている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・振り返りカード&gt;</p> <p>主◇聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手のあこがれの人物を知るために、友達が紹介する人物についての情報を聞き取ろうとしている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察・振り返りカード&gt;</p>
--	---	--	--	----------------	----------------	---